

しせき しばがはらこふん
史跡 芝ヶ原古墳

【遺跡の概要】

ぜんぼうこうほうけい
前方後方形の古墳で、後方部は東西約 21m(北辺)×南北約 23m(東辺)、前方部は前端部が開いた比較的短い形をしていたと推定されます。後方部の中心にはくみあわせしきもっかん組合式木棺が納められており、どうくしろ銅釧やどうきょう銅鏡、玉類などが出土しています。

築造時期は、墳丘の形態や出土した土器から3世紀前半と考えられ、古墳が造られるようになる古墳時代でも初期の墳墓として貴重な資料となっています。

【整備内容】

古墳を築造当初の姿に復元しています。また、休憩室とトイレをもつ建物を設置しています。

古墳北側の広場には、芝ヶ原古墳や周辺の古墳、古代寺院、官衙の分布を地形とあわせて立体的に表現した周辺地形立体説明板を設置しています。

【開園時間】

午前9時～午後5時 (11月～1月は午前9時～午後4時30分)

12月29日～1月3日は閉園

【行き方】

近鉄久津川駅から徒歩約10分 JR城陽駅から徒歩約15分

駐車場はありません。



周辺地形立体説明板



